

- Q** 御社の強みを教えてください。  
**A** 商品アイテム数。少量、少額の品を間に合わせ、来店してもらうこと。
- Q** あなた様の会社の取扱商品を教えてください。  
**A** 電動工具・土木建築資材・農器具・家庭用刃物類
- Q** 今までで一番嬉しかったこと、感動したことを教えて下さい。  
**A** 子供3人が五体満足で生まれてきてくれて、普通に育ってくれたこと。
- Q** 今までやりがいのあるあった事を教えてください。  
**A** お客様が持ってきた使用できなくなった品を自分の力で再生できた時。



- Q** お客様の会社名、お名前  
**A** オノダ刃物店 榊野 元典様
- Q** これからのお目標を教えてください。  
**A** 自分自身も60歳手前になるので、道具が壊れて困っているお年寄りにそれらを修理してあげたい。

一月・四月・七月・十月  
年四回 発行しております。

# サンコー未来★夢通信

## 大阪赴任と50周年の思い

大阪営業所 次長 亀野 弘

この度、名古屋営業所から大阪営業所に赴任致しました亀野弘（カメノヒロカズ）と申します。

実は7年ぶりの大坂赴任になります。

担当エリアも以前と同じで懐かしさを感じておりますが、7年という歳月は長く、皆さまそれぞれに発展され嬉しい思います。私自身も新たにお客様とお取引をさせて頂くつもりで「から取り組んで参ります。

話は少し変わりますが、私も入社して36年になりますが、サンコー物産株式会社は50周年を迎えます。年月というのは後から振り返りますとあついう間なのですが、私が入社した当時は社会もこの業界も厳しい環境でしたが、諸先輩方の多大なる努力と工夫により今のサンコー物産が存在しております。当社も時代の流れのなかで、アングラからデジタルへの変化そして「Tへの移行中ですが、サンコー物産株式会社の「お客様に対する基本姿勢」はお客様の期待を超えるサービスの提供を実現しお客様に感謝して頂けることを追求し続けます。」です。

社会情勢や社内環境などいろいろな変化をしてまいりましたが、お客様への基本姿勢は今までの50年もこれからも変わることはあります。せんので、今後とも変わらないお付き合いを宜しくお願い致します。



## 自己紹介

東京営業所 川端 野ノ香

はじめまして、6月26日に入社いたしました川端野ノ香と申します。入社日が誕生日という偶然が重なり、社会人として新たな一步を別な日に踏み出すことができました。

趣味はハンドメイドで、創意工夫や集中力を活かして物作りに励んでいます。最近では刺繍に挑戦してみたいと思います。

9月には新しく2名の方が入社し、学ぶだけではなく教える立場にもなりました。教えることでなく教える立場にもなっています。まだまは難しくもあり復習にもなっています。まだまだ学ぶことが多い身ですが、日々努力し、早く皆様のお役に立てる存在になります。たいと思想でどこぞ指導で鞭撻のほど、よろしくお願い致しませ。

## 自己紹介

東京営業所 大宮 裕美

はじめまして。9月2日にパートとして入社しました大宮裕美と申します。

私はサンコー物産と同じ建物内に住まいおり、皆様からは、めちゃうらやましがられる通勤時間は、わずか1分です。社長、社員さん方とは何年も前からの顔なじみでコロナの際には、マスク等も貰わせて頂き大変お世話になりました。サンコー物産の方々は、とにかく皆さん明るく元気に挨拶をされていて、一生懸命仕事されているイメージがありましたが入社してみて改めてつくづく実感しております。



## 自己紹介

東京営業所 烏海 和生

初めまして。9月2日から入社致しました。烏海和生（とうみあいき）と申します。読みにくい名前ですが、覚えて頂けると幸いです。まずは自己紹介をさせて頂きます。出身は千葉県君津市年齢は現在19歳で今年20歳になります。学生時代は幼稚園年中から高校三年生までやっていた剣道に打ち込む日々で中学校時代には関東大会にも出場致しました。高校を卒業後専門学校に進学しましたが、理想と現実の差に耐えきれず中退退学をしました。中退をきっかけに一人暮らしを始め1年間重し、オープンな「コミュニケーションを大切に存せず。所内全員が互いに支え合い、共に成長する力を持っています。皆さんの意見を尊重し、オープンな「コミュニケーションを大切にしながら、より良い職場環境を作り上げていきたいと考えています。新たな挑戦を楽しみにしつつ、困難な課題にも立ち向かっていく決意です。変化の激しい時代において、柔軟性を持ちながらも、確固たる信念を持って進んでまいります。全員が力を合わせ、成果を出せるよう努めますので、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。



名古屋営業所 所長代理 平林 祐汰



## 名古屋営業所 所長代理になつて

## 2024年スローガン 「知識を高めて多様化するニーズに応えて行こう!」

### 副社長と同行訪問

福岡営業所 所長 川崎 光隆

8月に副社長の久しぶりの来福で、同行営業をさせていただきました。スケジュール的に多くのお客様・仕入先様への訪問は出来なかったのですが訪問先の皆様から様々なお話を聞くことが出来たと思います。

現在、企業を取り巻く環境は様々な問題があります。人口減少の市場縮小、原材料の高騰、生産性の向上人材不足デジタル化など。これらは、一つが独立した課題ではなく全体の解決を図りたいと思います。この度は、お忙しい中貴重なお時間をいただき有難うございました。今後とも引き続き弊社を宜しく御願い致します。

### 3SK活動報告

福岡営業所



8月29日の台風10号の接近により、当社倉庫の床へ雨水の浸水が起こりました。以前、幾度かの浸水は発生していましたが、予想を越えた状況となり商品の一部が水濡れとなってしまいました。梱包箱が傷んだだけで商品自体には損傷はありませんでした。台風や豪雨に対しては、常々対策をしておりましたが油断をした点があつたと反省しております。

商品のチェックと再梱包を行ない、倉庫内の清掃水濡れ防止の対策を実施しました。自然の力は、人の予想を超える場合があります。今後も油断する事無く、様々な事を想定して対策実施を行います。最近は気象災害が多くなっています。皆様も災害に対する意識を高めよきましょ。

### 3階倉庫の3SK活動

大阪営業所 課長 木村 宗明



2024年9月21日(土)サンコー物産大坂にて3SK活動報告が開催されました。いつも通り持ち回りで4社で活動し、月に一度、山口先生の指導の下、担当の会社に集まって、開催されます。3SK活動は「整理・誠意・清掃」プラス危機管理の力を頭文字にしています。目的は、様々な面で会社を良くしていく事と個人の人間力向上、大きくなれるかもしません。これからも、お引取先とのコミュニケーションをとりながら課題解決を図りたいと思います。

この度は、お忙しい中貴重なお時間をいただきましたが、独立した課題ではなく全体の解決を図りたいと思います。この度は、お取引先様からのお話をヒントとなるかもしません。これからも、お引取先様とのコミュニケーションをとりながら課題解決を図りたいと思います。

3SK活動の、いるもの、いらないものを区分して、いらないものは処分しました。次に稼働率の高い物など商品の優先順位、商品の重量などを考慮して、移動場所を決めて行きました。移動に実際にかかった日数は2日です。が、準備からは2週間ぐらいかかりました。3SK活動をやっていていつも思うのですが、始める前はわくわく感と不安とが交差しています。いざ始めるところでは、もうこうしたいと思うようになります。欲が出てきます。4社持ち回りで、他社の活動を見て学んでいるからこそその欲望のようにも思えます。

今回の改裝目的は、中央部分に広いユーティリティスペースを作ることでしたが、達成できました。考えること、動くこと、私には良い老化防止になっているようです。これからも4社の皆さま、山口先生、宜しくお願ひ申し上げます。

### 防災用ヘルメットと防災用品がひとつに… 防災用品セット



初めて皆様の日頃よりのご愛顧に心から感謝申し上げます。今年の夏は連日猛烈な暑さに見舞われましたが、ようやく暑さも収まり秋の夜長を感じる季節となりました。今回はこの場をお借りして商品紹介をさせて頂きます。加賀産業(株)様の防災用ヘルメットと防災用品がセットになつた「オサメット」の「防災用品BOX」です。最大の特徴はオサメット(防災用ヘルメット)がA4サイズで薄さが45mmな為、オフィスや学校でも省スペースでの保管が可能な点です。お客様のご利用環境に合わせて防災用品は3タイプからお選び頂けます。オサメット単品での購入も可能ですので、ご興味がございましたらどうぞお気軽にお尋ね下さいませ。

### おすすめ商品のご紹介

東京営業所 主任 濱本 遼

#### 企業経営者・経理担当者の皆さん



#### 電子的決済サービスをご利用いただくと

支払企業	受取企業
コスト削減	コスト削減
事務負担削減	事務負担削減
リスク低減	リスク低減
場所を選ばず利用可能	資金繰りの円滑化

サンコー物産株式会社

私たち、住環境資材を通じてお客様へのお役立ちと地域社会に貢献します。

私たち、お客様に優れた品質の商品・サービスを提供し、より豊かな暮らしを応援することで、地域社会のパートナーになることを目指します。

### 編集後記

令和6年9月能登半島豪雨により被災された皆さんに心よりお見舞い申し上げますとともに、地域の皆さまの安全と、一日も早い復旧を心より祈りいたします。元日の地震により大きな被害を受け、復旧・復興の中で発生した甚大な被害に心を痛めています。このような「自然災害」は決して他人事ではありません。

今回もたくさんのお記事をご協力いただきまして、本当にありがとうございます。

本社  
総務部